

# レポート! 授業No.048「だれになる? なになになる?」

48 回目の授業は雪の降る宮城県白石市大平小学校にて、全校生徒 85 名の児童を対象に行いました。

講師にアーティストの三宅信太郎さん(1996 年 版画科卒)を迎えこの日のために準備してきましたが、残念ながら当日は体調不良のため講師不在での開催となりました。

今回の授業では 1~6 年生の縦割り班 4 グループが、それぞれ事前に「〇〇の世界」というグループテーマを設定。

グループテーマの世界に住む「だれか」や「なにか」になりきる着ぐるみを制作し「自分以外のだれかになりきってみる体験」をする授業です。

着ぐるみの完成後は着ぐるみを着て発表会を行い、最後にグループ毎に着ぐるみを一つに合体し大きな作品に変身させました。

## 2015.1.30 fri. 08:35~09:20 (1時間目)

### 開会の挨拶と講師作品紹介 (体育館)

緊張とわくわくがいっぱいの子も達が集まった体育館にて、この日の出前アート大学が始まりました。

今回の出前アート大学は85名の全校生徒と校長先生、教頭先生を含む10人の先生方そして出前アート大学のスタッフと、全員で100名近い参加の賑やかな回です。

校長先生、出前アート大学担当理事からの挨拶の後、講師の三宅先生が制作した着ぐるみ「キング」が舞台上に登場! プロジェクターで三宅先生のこれまでの作品を数点こども達に紹介し、「着ぐるみを着てなりきる」ことを伝えました。

事前のビデオレターと宿題の効果もあり、こども達はすんなりと内容を理解してくれた様子でした。

最初は緊張していた様子の子も達も、「今日は丸一日図工の時間だよ!」の言葉に顔がほころびました。

### ワークスペースへ移動し、制作開始

授業内容の説明と注意が終わると、こども達はグループ毎に4つのワークスペースへ移動。普段の学校生活でも、この4つのたてわりグループでの活動を行っているため、こども達の移動もとてもスムーズ。

移動が終わると道具の使い方の説明があり、まず着ぐるみの頭部に使用するヘアバンドの制作が始まりました。

このヘアバンドは着ぐるみの頭部を着用するための、大事な骨組みになります。3センチの幅の厚紙を、出前スタッフと先生の指導の元、児童それぞれの頭の大きさに合わせホチキスで留めていきます。

ヘアバンドが完成すると、いよいよ着ぐるみの頭部の制作が始まりました!

## 09:30~10:15 (2時間目)

## 10:35~11:20 (3時間目)

### 着ぐるみ頭部の制作 (各ワークスペース)

各ワークスペースに準備された紙袋、段ボール、厚紙箱、厚紙。この4種類の基本素材の中からこども達は好きな素材を一つ選び、ヘアバンドに合体して着ぐるみの頭部を制作しました。

ヘアバンドと基本素材の合体がおおると、自分の目や鼻の位置に合わせて穴をあけて行きます。この日は着ぐるみを着て給食を食べるため、口の位置にもしっかり穴を開けていました。試しにかぶってみる子ども達にも、それを見る子ども達にも笑顔が浮かびます。基本の構造が完成すると、事前に着ぐるみのデザインを描いてもらったデザインシートを元に、いよいよ自分のなりきるものの着ぐるみを制作していきます。こどもたちが持参したプラスチックやドングリ等の沢山の材料と、出前アート大学が用意したセロハンやビーズなどの材料。たくさんの中から好きなものを選び、こども達はノリやホチキスを使って着ぐるみに犬の耳やタコの足、目や鼻や模様などを制作していきます。事前に考えたデザインを元に忠実に制作をする子や、作りながらかたちを決めて行く子など、制作方法も様々。

男女に分かれて制作を行うチームや、6年生が1年生に教えるチームなど、子どもたちの個性だけでなく、グループの個性も感じる制作時間でした。

また1年生から6年生まで、制作のペースもさまざま。色付けに時間をかける子もいれば裝飾にこだわる子もいました。

### 発表準備 (各ワークスペース)

あっといいうまに制作時間が過ぎ、まだまだ作りたい様子の子も達でしたがここで制作はひとまず終了!まずは完成した着ぐるみを着てみます。

着心地はどうか?鏡にうつる自分にびっくり!着ぐるみを着たあなたはだれ?せまくなった視界にちょっと緊張したり、普段の見慣れた景色もなんだか違って見えたり。自分以外のものになるとってとても不思議で、ドキドキして、とっても楽しい!あちこちから子ども達の笑い声が聞こえてきました。

そして発表の準備。実際に制作した着ぐるみの形や自分のなりきるものの性格を発表シートに記入し、リーダーの6年生を中心に、グループ毎にどのような発表にするか話し合い、練習を行いました。



## 11:30~12:15 (4時間目)

### 発表会 (体育館)

児童も大人も全員着ぐるみを着用し、体育館にグループ毎に並んで座り、発表会がスタート!

今回のグループテーマはそれぞれ「桃太郎の世界」、「海の世界」、「宇宙の世界」、「ジャングルの世界」。グループ毎に前に出て並び、児童一人一人がマイクを持って自分のなりきるものはどんなものか発表をしてもらいました。

歌や踊りを取り入れた発表をするグループや、なりきるものごとに発表するグループなど、グループによって様々な工夫をしていました。

自分と違うものになりきっているの、いつもより緊張していない様子でした。

絵具を使っているチームや動物の着ぐるみがたくさんいるチームなど、表現方法にもチームの個性を垣間みることができる発表会になりました。

## 12:15~13:15 (お昼休み)

### 着ぐるみを着ていただきます!(各ワークスペース)

発表会が終わると2階のワークスペースに戻り、2チームに分かれ給食を食べました。

「いただきます」をする時は全員着ぐるみを着用。食べにくい場合は順次脱いでOKというルールのもと、着ぐるみをきた40人のこども達と先生やスタッフが並んで食事をする姿はとても印象的でした。

給食をいつもより少しずつ口に運んだり、お面の下から着をいれてみたり、みんなどうやって食べればいいのか、いろいろと工夫していました。

いつもの教室での給食とは違い、ワークスペースでみんなが並んで食べる給食はとても楽しそうでした。

## 13:15~14:00 (5時間目)

### 着ぐるみを巨大絵画に変身!(体育館)

グループごとに合体した着ぐるみの洋服パーツを一枚の大きな画面に見立て、今度は体育館にて共同制作を行いました。

この洋服パーツは事前宿題としてこども達が米袋に絵具で制作したものです。

絵具で描いた上にクレヨンでさらに絵を描いたり、柄付きのテープやプラスチックをくっつけたり。つくることが大好きなこども達は「あと何分だよ〜」の合図に、ワー!キヤー!と普段は寒い体育館が熱気がいっぱいになるほど、一生懸命制作していました。

## 14:00~14:30 (特別延長時間)

### 全員で記念撮影 (体育館)

巨大絵画に変身させた、1枚につながった着ぐるみを再度着用して最後に全員で記念撮影。

つながった着ぐるみはちょっと着用するのが難しそうでしたが、みんなの頭がでるとキャピラーのような立派な作品になりました。

こども達に感想を聞いてみると、「作るのが楽しかった!」、「もっと描きたかった!」という声が多く聞きました。

こども達にとっても小学校にとっても初めての、丸一日図工の日。最後までみんな元気に楽しんでくれた様子でホッとしました。

最後に教頭先生と出前アート大学の担当理事から挨拶があり、この日の授業は終了となりました。

### まとめ

今回の出前アート大学は想定外の状況下での開催となりましたが、小学校の多大なご協力とご理解の元、スタッフが丸となり無事開催することができました。三宅さんご自身の制作活動でのテーマやもの見方は、出前スタッフだけで伝えきれなかった部分がありますが、こども達にアートのもつ「作る楽しさ」や「表現の可能性」などの魅力を伝えることができた授業になりました。

こども達が一生懸命制作した着ぐるみと、大人が着用した着ぐるみは全て小学校に展示してくださるそうです。

### ■おわりに

今回の授業開催にあたり、大平小学校の奥田茂人校長先生、担当教員の戸村千鶴先生をはじめとする先生方、また校友会会員である村上洋二さん(1972年グラフィックデザイン科卒)に多大なご理解とご協力と頂きました。

